河辺雄和商工会報

2015.1.1
Vol. 36

ARTISTS VILLAGE
芸術の里 かわべゆうわ

CONTENTS

P1 商工会合併10周年記念式典
P2～3 年頭のごあいさつ
木村会長、穂積市長
髙橋青年部長、佐々木女性部長
謹賀新年「役職員一覧」
P4 （青年部・女性部コーナー）
そらコンあきた２０１４
施設奉仕（花の寄贈）
P5～6 （商工会の取り組み紹介）
地域内資金循環等新事業開発検討事業
三部会合同総会並びに視察研修
バリコロ☆食べ歩きキャンペーン終了
全国連会長表彰
記帳個別講習会
P7～12 商工会合併10周年記念増刊
合併10年の節目と新時代の商工会運営
記念講演・記念式典・記念祝賀会
商工会10年のあゆみ
商工業者数・会員数の推移

Kawabe-Yuwa Societies of Commerce and Industry
河辺雄和商工会の情報紙

発行所 河辺雄和商工会
秋田県秋田市河辺和田字上中野176-3
TEL 018-882-3523 FAX 018-882-3774
URL：http://kawabe-yuwa.com

年頭のごあいさつ

河辺雄和商工会長
木村友勝

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には晴れやかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は、念願の小規模企業振興基本法並びに県の中小企業振興条例が制定され、これからの小規模企業施策がより一層拡充されることが期待される喜ばしい年となりました。

また、本会にとりましても合併十周年記念式典の挙行は、会員皆様への感謝と組織の結束力を高める最良の機会として、また更なる成長の通過点として大変意義ある催しでありました。

また、十二月には第四十七回衆議院選挙が行われ、自民・公明両党が絶対安定多数を上回る議席を獲得し、安倍政権の継続が決まりました。

しかしながら、商工業者を取り巻く経済環境は、人口減少や少子高齢化により縮小する市場とグローバルな競争の波が地方まで押し寄せております。加えて消費税増税後の消費の大幅な落ち込みや円安による輸入コストの上昇など先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

このような状況下、本会では事業者の課題を迅速に解決するため徹底した巡回指導を実施いたしました。また、二年目を迎えた「芸術の里かわべゆうわプロジェクト」では、交流人口の増加と移住・定住者の誘致を促進するために、地域内外に「芸術の里」を広くPRいたしました。このことにより「月刊商工会」で大々的に紹介されたほか、全国連会長から商工会法施行五十周年特別枠部門（コミュニティ維持活動強化）として表彰されるとともに、地域の皆様からも本事業への理解を深めていただきました。

今年も会員事業者並びに地域のために、何事にも果敢に挑戦していく所存でありますので、会員皆様をはじめ秋田県並びに秋田市の関係当局のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに会員皆様のご商売繁盛とご健康を祈念し新年の挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

秋田市長
穂積志

平成二十七年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

貴商工会は、昨年記念すべき合併十周年を迎えられました。これまで企業経営の総合的な支援はもとより、河辺雄和の豊かな自然環境を活かした地域活性化に熱心に取り組まれ、本市産業の振興と発展に多大なるご貢献をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

さて、昨今の経済状況は、アベノミクスにより、株価の上昇や雇用環境の改善など、好転の兆しも見えつつありますが、地方においては、少子高齢化と人口減少、米価の著しい下落や円安に伴う物価の上昇など、多くの課題が山積しております。

このような中、皆様におかれましては、「芸術の里かわべゆうわ」や「SORAコンあきた2014」などの開催を通じて、人口減少社会への積極的な対応に努められておられますことは、河辺雄和地域のみならず、本市全域の活性化に大きく寄与するものであるととらえております。

本市としても、新年度に策定を進める新たな総合計画において、時代の変化を見据えながら、本市が直面する喫緊の課題への取組方針を整理し、将来にわたって元気な秋田市の実現に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、輝かしい未来に向けた飛躍の年になることを祈念し、年頭のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

青年部長
髙橋 啓正

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつがなく新しい年をおつ迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃より青年部活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨今の経済状況においては、国策により緩やかに持ち直しに転じているといわれておりますが、本県においては正直なところ実感が湧かないというのが実情です。さらに、昨年四月からは消費税率が8%に引き上げられたことによる駆け込み需要の反動があるなど引き続き厳しい経済状況下にあります。

明るい兆しとしては、六月に小規模企業振興基本法が施行され、小規模事業者が地域経済の担い手として位置付けられるなど、経営者として持続的な発展に繋がるうれしい話題もありました。

昨年の青年部事業としましては、ご当地グルメ「バリコロ焼き」の出店を通じ、地域資源である大張野豚の普及活動に継続的に取り組んでまいりました。併せて商工会が企画するバリコロ新メニュー開発やキャンペーンへの協力、またホームページやフェイスブックにより青年部活動や当地域の魅力を積極的に発信しました。新たな取り組みとしては、地域課題である人口減少問題に対し、青年部の若い力で少しでも歯止めをかけるため、男女の出会い創出事業「そらまめ」を開催しました。県少子化対策応援ファンドを活用し、秋田空港ターミナルビル㈱様との連携のもと、県内各地から男女四十八名にご参加いただきました。秋田空港を会場に非日常的空間を演出したことから、インパクトあるイベントとなり、地域の交流人口の増加や活性化の一助を担えたものと考えております。

今後も青年部一同一丸となって地域貢献活動に取り組んでまいる所存でございます。皆様方には更なるお力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ

女性部長
佐々木 睦子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

商工会会員の皆様には、日頃より女性部に対しましてご支援、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

商工会地域を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況が続いているものの、県内金融経済概況では、景気がゆるやかに回復していると示されたように、先行きに明るい兆しが見えてきているのではと思います。

これからの地域経済を支えていく中、商工業に携わる女性として地域で重要な役割を担う女性部として、女性ならではの特性を生かし「おもてなしの心」で一人ひとりが地域貢献活動にも積極的に取り組んで参ります。

また、昨年は河辺雄和商工会女性部誕生十周年を迎えることができました。

今年も、これまでに築き上げてきました地域間と私たち女性部員が手と手と取り合って次なる十年に向けて大いに飛躍できますように、更なる連携強化を図りながら推進して参ります。

重点事業であります「仲間づくり運動の推進」「各研修事業の実施」「おもてなし隊活動」「地域振興事業」の実施「エコ活動」「交通安全推進運動の実施」の各事業、部員一人ひとりが力を合わせ、事務局の御協力をいただきながら個々の経営発展と地域経済の発展を目指し活動して参りたいと思いますので、ご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後になりますが皆さまの益々のご発展、ご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

【河辺雄和商工会】

会長 木村友勝
副会長 齊藤善悦
副会長 岡部正高
理事 鈴木幸次
理事 佐々木義友
理事 齊藤敏比己
理事 戸井田喜美雄
理事 佐藤三男
理事 岡部秋男
理事 齊藤一志
理事 吉田憲充
理事 石塚勝己
理事 舟山賢治
理事 五十嵐龍之介
理事 伊藤久
理事 工藤司
理事 髙橋昇吉
理事 田村一之
理事 田口悟
理事 髙屋貞一
理事 工藤康憲
理事 齊藤秀徳
理事 高橋仁司
理事 佐藤総栄
理事 長谷部仁
理事 髙橋啓正（青年部長）
理事 佐々木睦子（女性部長）
監事 木村昌永
事務局職員一同

青年部だより

～実現力～“自覚と覚悟を持ち、地域発展の先駆者となれ
すべては、愛する秋田のために”

「SORA（そら）コンあきた2014」開催

～夕暮れのロマンティックな空港で、ドラマティックな出会いを～

１１月８日（土）、秋田空港において男女の出会い創出事業「そらコンあきた2014」を開催しました。この事業は秋田空港ターミナルビル㈱様からのご協力をいただき、青年部が今年度初めて取り組んだ事業です。県の「少子化対策応援ファンド」の助成を活用し、男女の出会いの場を創出することで交流人口の促進化を図り、出会い・結婚支援による少子化対策、ひいては将来的な人口の増加を目的とし実施しました。

河辺・雄和地域で抜群の認知度を誇る「秋田空港」を会場に、他では体感できない“非日常的空間”を演出。空港内を散策する「クイズラリー」や誘導灯でイルミネーションのようにライトアップされた滑走路内で飛行機の離発着を間近で見学する「場内バスツアー」、フリータイムは「レストランそら」を貸し切って交流を深めるなど様々な企画を盛り込みました。

県内各地から多数のご応募をいただき、抽選により決定した男女48名が参加しました。司会はラジオパーソナリティのマティログさん、秋田放送アナウンサーの椿田恵理子さんが務め、新たな出会いを演出するため、会場を大いに盛り上げてくださいました。イベント前には、両司会者から「男性決起集会」、「女性魅力アップ講座」をそれぞれ参加者特典として開催していただき、異性との出会いに向けての心構え・決意を新たにしていただきました。

今回は告白タイムを設けない代わりに、告白カードを活用して互いの意思確認や連絡先交換ができるようにしたことから、周囲に気兼ねすることなく相手に想いを伝え、友達としてのお付き合いから恋人同士の交際まで幅広い男女の出会いを創出しました。

今回ご参加いただいた皆様が河辺・雄和の魅力を堪能し、今後も男女一緒に当地域へ足を運んでいただければと願っております。また、本事業の開催に伴い、ご協力いただいた皆様には心より御礼申し上げます。

会場を盛り上げてくれた司会者のマティログさんと椿田恵理子さん

両司会者と青年部員との記念撮影

女性部だより

おもてなしの心で
地域に元気とにぎわいを！

地域内の福祉施設にポインセチア寄贈

河辺荘にてメリークリスマス♪

女性部では奉仕活動の一環として地域内の4つの福祉施設へ観葉植物の鉢植えを贈っています。近年は12月にちなんでポインセチアを選んで贈っています。入所者の方やそのご家族、そして職員の方々など関係する皆様の目を楽しませ、明るい気持ちになっていただければいいなと思っております。

頑張る中小企業を応援します！

当協会では、低利な保証制度を多数用意しております。
※金利＋保証料　　マル市 2.45%　　マル市小口 2.25%
まずは、保証協会、最寄りの金融機関、商工会窓口までお気軽にご相談下さい。

TEL:018-863-9016　FAX:018-863-9010

秋田県信用保証協会

大分県・福岡県へ

先進地視察研修

商工会では今年度、地域内で資金を循環させる、又は地域外から資金を呼び込むための新事業開発を検討する「地域内資金循環等新事業開発検討事業」として、２つの事業を実施しております。

●芸術家の移住定住に向けた街づくり『芸術の街かわべ』事業
●芸術家を地域資源として捉えた里づくり『アートな里ゆうわ』事業

それぞれの事業では女性部員を中心に委員会を構成し、女性目線で調査研究を行っております。

そして、12 月 3 日（水）～ 5 日（金）両委員会は、住みたい田舎ランキング全国トップクラスである大分県宇佐市をはじめとした大分県・福岡県の先進地を視察して参りました。

充実の支援制度と移住後のサポート体制

住みたい田舎ランキング全国第１位の大分県宇佐市。移住定住促進、受入体制など「選ばれる魅力」のヒントを探るべく同市を訪れました。

空き家バンク制度、田舎暮らしおためし事業、空き家改修補助事業、家賃の補助など移住者への支援制度が充実しているほか、移住者と地域を繋ぐサポート体制も充実。また、移住情報専門サイトの開設やメディアの有効活用など、移住定住促進のための各種支援策が充実。移住者に対する歓迎度の大きさが選ばれる魅力のひとつと言えるようでした。

続いて、偶然「似ている」ことから地域資源となった「宇佐のマチュピチュ」を視察。視察後のバスの車内では、それぞれ地元の景観を思い出しながら地元の良さを再評価する一同でした。

かつての活気を地域資源に。「昭和の町」で奇跡の復活劇

大分県豊後高田市は住みたい田舎ランキング全国第３位。移住促進もさることながら、ここで目を見張るのは「犬と猫しか歩かない」「鉄砲を打っても死人が出ない」とまで評された悲劇の商店街の奇跡の復活劇。商店街が最も輝いていた昭和 30 年代にオンリーワンの個性を見出し「隠れた地域資源」として再評価。商店街を巻き込んだ戦略的再生策により年間 40 万人も訪れる町に。

コーディネーターと主役（商店街）、そして支援者の明確な役割分担が魅力ある街づくりのカギとなっている事を知り、「我が街にも・・・」と想いを馳せる一同でした。

サードプレイスでプラットホーム（土台）づくり

温泉街として有名な大分県由布市湯布院町。一同はまち歩きをしながらその人気の魅力を探り、視察先である「カフェ＆ギャラリー クリークス」へ。洗練されたおしゃれな空間に期待を膨らませながら、福岡県から湯布院町へ移住した同店代表の谷川氏より話を伺う。

移住者としての現実的な考えや移住者だからこそできる役割など、忌憚のない谷川氏のリアルな話に一同釘づけ。中でも「芸術家を地域資源とした地域活性化をするのならば、芸術家自身にとって癒しの場となる『サードプレイス』第三の場所が必要。そしてそのサードプレイスをプラットホーム（土台）として、小さい単位の街づくりをしていく事が魅力ある街づくりに繋がる。この店もプラットホームづくりの一環」という谷川氏に大きくうなずく一同でした。

温故知新のスターバックスは圧巻！アートな街づくりで魅了

歴史ある名所としてあまりにも有名な太宰府天満宮がある福岡県太宰府市。ここは古くから芸術と深い関わりを持つことから、観光名所でありながら「アートプログラム」を展開し、現代アートと融合した「アートな街づくり」で人々を魅了。参道にあるスターバックスもその象徴のひとつで、杉の木を 2000 本も使用した圧巻の店づくり。伝統を重んじているから現代風でも違和感なく人々を惹きつけているのだと、感心の声が漏れていました。

平均年齢 65 歳以上のヒーロー達が見出す活路

福岡県筑紫郡那珂川町の南畑地区。ここは、環境の良さから芸術家が自然発生的に集まり、住居やアトリエを構える集落で、近年「芸術の里」としても脚光を浴びている。また、県都である福岡市から車で 30 分程度のところに位置しているという、我が河辺雄和地区ととても似ている那珂川町。ここでは平均年齢 65 歳以上の有志 7 人で構成される「南畑地域活性化協議会（通称：南畑ぼうぶら会議）」が外部プロデューサーの仕掛けのもと、「誰もが住みたくなる南畑地域を創る」ためのユニークな活性化策に町の活路を見出している。

優しく、それでいて戦略的なヒーロー達の存在は「私たちにも何が出来る事があるのかもしれない」そう思わせてくれました。

商工会の取り組みご紹介（10月～12月）

～「バリコロ☆食べ歩きキャンペーン2014」終了～

10月1日（水）から、2ヶ月間にわたるバリコロ☆食べ歩きキャンペーン2014が、11月30日（日）をもちまして終了しました。

全12加盟店によるバリコロ☆新メニューを、今年もたくさんの方々にお召し上がりいただきましてありがとうございました。

また、河辺ドライブイン・鮨吉・露地厨房 且坐（しゃざ）では、元祖バリコロ焼きが引き続き召し上がれますので、ぜひご利用ください。

販売数上位5加盟店

順位	加盟店名	新メニュー名	合計（10/1~11/30）
第1位	国際教養大学 カフェテリア	バリコロチャップ	992食
第2位	河辺ドライブイン	バリコロ焼き 焦がしみそ味	753食
第3位	椿台カントリークラブ	バリコロソテーの粒マスタードソース	503食
第4位	プラザクリプトン	フルーツ風味のバリコロカツ	236食
第5位	秋田空港ターミナルビル レストランそら	バリっとみそコロ	177食

※あくまで販売数によるものです。

第1位　国際教養大学 カフェテリア「バリコロチャップ」

新メニュー発表会ではABSの取材があり「ABS news every」で放映されました

三部会合同総会並びに視察研修

11月3日（月）「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトに参加いただいているアーティストのアトリエ視察並びに国民文化祭ファイナルイベントの視察を行いました。

この度の視察は「アトリエは身近にあるが、なかなか訪問する機会がない。」との声を受け実施したもので参加者からは「非日常的な空間を感じることができ新鮮だった。」などの感想が出されました。国文祭ファイナルイベントでは「六郷の竹打ち」や「お囃子の共演」などを視察し、全国最多の重要無形民俗文化財を有する秋田の文化力をうかがい知ることができました。

視察終了後、河辺ドライブインにおいて合同総会を開催し議案は原案通り承認されました。

秋田市河辺・雄和地域の魅力発信「アーティストトークセッションinあきた」

10月27日（月）にぎわい交流館AUにて、河辺・雄和地域で活動するアーティストたちの作品展示会並びにトークセッションを開催しました。日頃の活動を通じて感じている当地域の魅力・素晴らしさを発信するとともに、体験型教室等を通じて当地域への交流人口を増やすことを目的とし、秋田市中心市街地より市民へ広く発信しました。

当日はアートギャラリーにおいてアーティスト7名による作品展示会も開催し、陶器や油彩画、写真など約200点の作品を展示しました。多くの市民らが会場に訪れ、制作過程や作品の特徴などについて制作者から直接説明を受けておりました。また、アート工房にて開催したトークセッションには、約50人の市民らが来場し耳を傾けておりました。齊藤副会長をコーディネーターに、「河辺・雄和を活動拠点に選んだ理由」「将来の展望」「芸術の里かわべゆうわプロジェクトへ期待すること」などについて、前向きで活発なセッションとなりました。

多くの来場者で賑わった作品展示会場

河辺雄和地域で活動する7名のアーティスト

全国連会長表彰を受賞

昨年の11月20日（木）NHKホール（東京都）で開催された第54回商工会全国大会にて本会が、全国連会長表彰を受賞しました。

本表彰は、昨年度から実施している「芸術の里かわべゆうわプロジェクト」が評価され、商工会法施行50周年特別部門（コミュニティ維持活動強化）として全国で4商工会が表彰されました。

お知らせ

記帳継続指導個別講習会のご案内

商工会では、正しい申告・納税を行っていただくため、平成26年分の確定申告に係る記帳継続指導個別講習会を、下記の通り開催いたしますので是非ご出席ください。

【日程・会場】

開　催　日	時　　間	講　師
平成27年３月３日㈫	午後１時～午後４時まで	税 理 士
〃　３月６日㈮	午後１時～午後４時まで	税 理 士
〃　３月11日㈬	午後１時～午後４時まで	税 理 士
〃　３月13日㈮	午後１時～午後４時まで	税 理 士
会場：河辺雄和商工会本所		

【内　容】

平成26年分に係る決算書及び確定申告書の作成指導

増刊

河辺雄和商工会 合併10周年を祝う

昨年11月22日（土）プラザクリプトンにて、合併10周年記念式典が来賓並びに会員約100名が参加し、盛大に挙行されました。

第一部は、地元河辺出身の映画監督若松節朗氏による「夢の実現」と題した記念講演が行われました。

続く第二部の記念式典では、功労者表彰、優良従業員表彰、移住者歓迎セレモニーが行われ、第三部の記念祝賀会では、参加者が合併10年を迎えた喜びとさらなる繁栄を誓い盛会裏に終了いたしました。

合併10年の節目と新時代の商工会運営

河辺雄和商工会　会長　木村　友勝

はじめに、商工会は、地区内における商工業の総合的な改善発達を図る「経済団体」と経営改善普及事業を実施する「指導団体」という２つの役割を担うため、昭和35年に「商工会の組織等に関する法律」（現在の商工会法）が制定されスタートいたしました。

その後、平成の市町村大合併が進み当初の64商工会が、現在は約1/3の21商工会となっております。

本会も、平成16年4月1日に、河辺町商工会と雄和町商工会が合併し、河辺雄和商工会が誕生しました。これは少子高齢化という時代の先取りと同時に、商工会の体質強化が目的であり、年々厳しくなる財政事情を考慮した当然の姿であり、いままで半世紀を超えご尽力いただいた先人のご労苦に感謝申し上げます。

合併後の10年間、会員や地域から頼られる組織を目指し、時代の変化や趨勢を迅速にとらえ、国や秋田県、秋田市のご指導のもと地域の特性を活かした取り組みに果敢に挑戦して参りました。このことこそが、商工会が継続していくためのあるべき姿と確信いたしております。

次に、新時代に対応した商工会運営として取り組むべき事業を2つ提案したいと思います。

一つ目は、少子高齢化で縮小する地域経済を交流人口の増加、空き家等への移住促進で活性化を図る「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトです。

二つ目は、自然豊かな環境とそこから作りだされる農産物等を活用した農商工連携の促進です。

これら事業は、昨年の小規模企業振興基本法の成立を受け、平成27年度は、関連予算の大幅増加が見込まれており、秋田県においても中小企業振興条例が制定されたことから具体的に施策が実施されることと考えます。

商工会が次の20年を迎えるために必要なことは、設立当初の目的である「経済団体」「指導団体」としての役割をしっかりと果たしていくことです。

合併10周年を節目として、今一度初心に帰り商工会運営に邁進してまいりますので会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

優良従業員表彰

功労者表彰

第一部 記念講演

映画監督 若松 節朗 氏

開会あいさつ　岡部副会長

開会に先立ち、岡部正高副会長が開会あいさつを行いました。

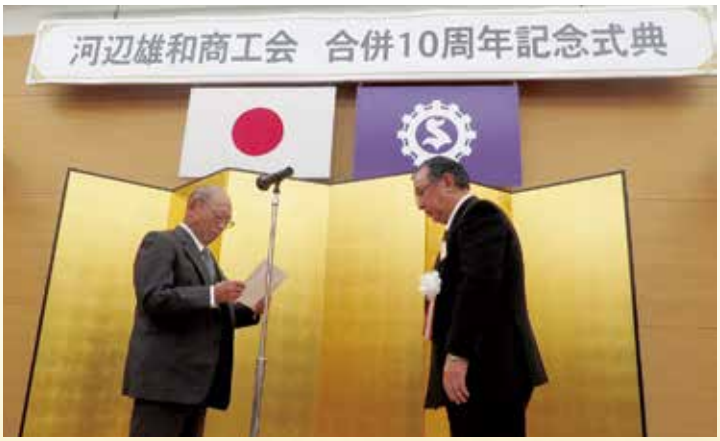
講師の映画監督若松節朗氏は、河辺和田の出身、秋田商業高校卒業後日大芸術学部に進学。日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞した「沈まぬ太陽」を代表作に、「ホワイトアウト」、そして昨年 10 月に上映した「柘榴坂の仇討」と多数の作品を制作いたしました。

講演では、映画製作における俳優・女優との制作秘話や故郷への思いを熱く語りました。

聴講した方々は、同郷の偉人の魅力を身近に体感でき、地元への思いを更に深くした講話でした。

第二部 記念式典

式辞　木村会長



功労者代表謝辞　安藤氏

木村友勝会長の式辞のあと、合併功労者5名と役員功労者4名に木村会長から表彰状が贈呈されました。受彰者を代表し安藤彦一氏が謝辞を述べました。

合併功労者

伊藤　忠夫　　岡部　正高　　工藤五十雄
石川　栄一　　安藤　彦一

（敬称省略）

役員功労者

齊藤　善悦　　佐々木義友
鈴木　幸次　　佐藤　三男

（敬称省略）

次に、優良従業員表彰が行われ、勤続10年表彰5名、20年表彰3名、30年表彰3名、計11名の方々が表彰されました。10年表彰と20年表彰は木村会長、30年表彰は穂積市長から賞状と記念品が贈呈され、受彰者を代表し伊藤工業㈱尾形隆光氏が謝辞を述べました。

勤続10年表彰：商工会長表彰

㈱河辺清掃社	鈴木　純一
㈱秋田病理組織細胞診研究センター	齊藤　千佳
㈲斎藤産業	菊地　俊彦
㈱岡精組	佐々木勝彦
㈱木村建材店	佐藤　稲子

（敬称省略）

10年表彰　受彰者

20年表彰　受彰者

30年表彰　受彰者

勤続20年表彰：県連会長・商工会長

㈲斎藤産業	佐々木政一
㈱岡精組	碇谷　義雄
㈲斎藤産業	堀井　登

（敬称省略）

勤続30年表彰：秋田市長・商工会長

伊藤工業㈱	佐藤　満
伊藤工業㈱	尾形　隆光
㈲五十嵐板金工業	岩谷　文男

（敬称省略）

30年表彰者に贈呈

優良従業員代表謝辞　尾形氏

次に、昨年３月に東京都渋谷区から河辺に移住した写真家の遠山桂太郎氏へ、会員からの歓迎の品を木村会長が贈呈しました。

歓迎の品提供企業

㈱木村スタンド、㈲芝野農興、佐伊商店、㈱河辺清掃社、㈲山源商店、㈱雄和振興公社、河辺振興公社㈱、㈱サンアメニティ秋田支社

最後にご来賓を代表し、穂積秋田市長、秋田県秋田地域振興局長、秋田県商工会連合会長からご祝辞をいただき、第二部は終了しました。

穂積秋田市長

菅生秋田県地域振興局総務企画部長

齊藤善悦副会長が開宴あいさつを行い記念祝賀会は始まりました。

竹下県議会議員の乾杯の後、秋田舞妓による舞が、宴に花を添え会場の雰囲気を明るく和やかなムードにしました。

最後に、相場市議会副議長が商工会の益々の発展を願い、一本締めで祝賀会は盛会裏に終了しました。

第三部 記念祝賀会

開宴あいさつ　齊藤副会長

乾杯　竹下県議会議員

中締め　相馬市議会副議長

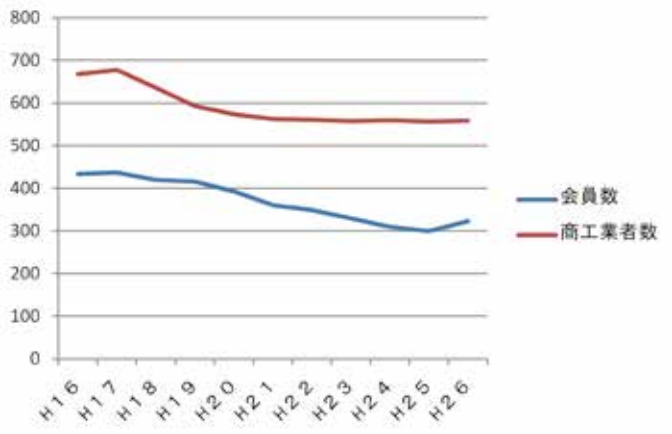
河辺雄和商工会 10 年のあゆみ

平成１６年度	
４．１	秋田県知事より河辺雄和商工会が認可（開所式）
５．２１	第 1 回通常総会開催　初代会長に伊藤忠夫氏を選任
６．１１	商工業振興ビジョン策定事業スタート
９．１１～１２	第 37 回秋田県商工会青年部野球河辺雄和大会にて 河辺雄和商工会青年部が優勝
１０．３０～３１	第 1 回産学交流ふれあい事業実施（国際教養大学との連携事業）
１１．４～５	会員視察研修（青森津軽方面）
１２．２～～２７	6 地区での移動商工会実施
１．８	商工会会員大会並びに新春の集い
１．１１	河辺町・雄和町が秋田市と合併
２．１７	商工業振興ビジョン策定事業報告会
平成１７年度	
４．１	組織率 1 ランクアップモデル商工会に選定される
８．５～	地域密着型経営革新推進事業実施
１２．８	第 1 回行政懇談会開催
２．２８	3 部会合同視察研修実施（由利本荘市）
３．２５	エプロンデー事業開始
	かわべゆうわ共通商品券発行事業開始
平成１８年度	
９．２９	全県商工会女性部おもてなし隊結団式
１０．２０～２１	全県商工会おもてなしまつり大仙市で開催
３．２１	優良商工会青年部として全青連会長表彰受彰
平成１９年度	
５．１５	河辺雄和物産協会設立
５．２９	河辺町・雄和町青申会を解散し河辺雄和青申会設立
６．４～	地域資源全国展開支援事業「まるごと JANGO 河辺雄和」スタート
７．１０～	商工会女性部「響き隊」結成
１０．１２	秋田わか杉国体開会式
平成２０年度	
５．２４～２５	全県商工会おもてなしまつり北秋田市で開催
６．１０	全国植樹祭が北秋田市で開催
７．１１～	「儲かる企業支援塾」をスタート
７．２１	農商工連携促進法施行
１２．１～	女性部「エコキャップ収集」開始
１．１０	河辺雄和商工会創立 5 周年記念式典開催
平成２１年度	
５．１２	第 6 回通常総会開催　会長に木村友勝氏を選任
７．２	県議会議員 43 名が「商工会の応援団」を結成
９．１６～	農商工連携で JANGO を元気にする研修会開始
１０．２４	まるごと JANGO 体験ツアー開催
１２．４	中小企業金融円滑化法施行
平成２２年度	
６．１０	商工会法施行 50 周年記念「全県エコ宣言」
８．２１	まるごと JANGO 親子農作業体験研修
１０．３１	まるごと JANGO でごん収穫体験研修
１１．１５	商工会法施行 50 周年式典の開催（秋田県）
１１．２６	商工会法施行 50 周年式典・第 50 回商工会全国大会
平成２３年度	
８．３～６	青年部 B 級グルメフェスティバルに出店（青年部バリコロ焼きをお披露目 4,000 食完売）
８．２０	第 1 回まるごと JANGO 体験ツアー
１０．９	ものづくり体験教室（和紙・畳）
１０．３０	第 2 回まるごと JANGO 体験ツアー

平成２３年度	
１１．８	秋田県商工会連合会創立 50 周年記念式典
３．３１	雄和支所閉館
平成２４年度	
６．１２	かわべゆうわ共通商品券販売終了
１０．１３～１４	プレデスティネーションキャンペーン「全県商工会おもてなしまつり」
	まるごと JANGO「ピンバッチ」完成
	まるごと JANGO 便　100 セット完売
１１．２２	青年部全国連会長表彰受彰
平成２５年度	
４．１～	「芸術の里かわべゆうわ」構想プロジェクトスタート
	・ロゴマークの制作、アート体験教室、アーティストのネットワーク構築、アーティストの移住定住促進ガイドブックの作成、空き家、空き店舗情報ホームページで公開、バリコロ焼きのブランド化等
７．１２	秋田市農産加工品等販売促進協議会設立
１０．１～	秋田デスティネーションキャンペーンスタート
１０．１２～１４	全県商工会おもてなしまつり
１０．１～１１．３０	バリコロ☆食べ歩きキャンペーン（12 加盟店参加）
１１．２１	女性部全国連会長表彰受彰
１２．２	佐竹知事「バリコロ焼き」試食
３．１	河辺雄和森林資源活用地域通貨プロジェクトスタート
３．３１	アーティスト２家族７名移住
平成２６年度	
４．１	消費税が 5% から 8% に増税
	秋田県中小企業振興条例施行
６．２０	小規模企業振興基本法施行
６．２４	河辺雄和物産協会解散
８．３０～３１	中央地区商工会おもてなしまつり
９．２０～２１	第 10 回ふるさと回帰フェア出展（東京国際フォーラム）
１０．１１～１３	全県商工会おもてなしまつり
１０．４～１１．３	第 29 回国民文化祭あきた 2014
１１．２２	商工会合併 10 周年記念式典
１１．２６	第 54 回商工会全国大会にて河辺雄和商工会が「コミュニティ維持活動強化」部門で全国連会長表彰受彰

会員数・商工業者数の推移

	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６
会員数	434	437	420	416	393	361	349	330	310	300	323
商工業者数	668	678	636	593	574	563	561	558	560	557	559
組織率	65.0%	64.5%	66.0%	70.2%	68.5%	64.1%	62.2%	59.1%	55.4%	53.9%	57.8%



H15.11.14　合併契約書調印式